

「加工・業務用野菜日本一産地確立事業」に関する業務委託仕様書

1 委託業務名

加工・業務用産地確立推進事業

2 目的

担い手の減少や高齢化等が進行する露地野菜産地において、生産者と実需者が連携し、生産から加工・販売までを一体的な生産体制のもとで行う「耕種版インテグレーション」の取組拡大のため、産地を担う大規模経営体が行う効率的な分業化の推進等により加工・業務用野菜産地の持続的な発展を図る。

3 委託業務の内容

本業務委託では、実需者ニーズの効率的かつ継続的な把握ができる人材及び県内の耕種版インテグレーション優良事例（ほうれんそう）の更なる発展と優良事例の重量野菜（だいこん、さといも等）への横展開を推進できる人材を育成することで耕種版インテグレーションの取組の普及・拡大を図るものとする。

(1) 研修計画の策定及び実施

① 研修計画の策定

(1) の②の研修内容について発注者と調整し、研修計画を策定すること。
なお、策定した研修計画の周知については、発注者が行うものとする。

② 集合型研修の実施（3回程度の研修会を想定）

耕種版インテグレーションの取組を推進するための人材育成を目的に、市町村・県・JAの担当者等を対象とし、耕種版インテグレーションに取り組む農業者（加工事業者、農作業受託者及び生産者）を講師として招いた、以下アからオの内容を含む研修を実施すること。

ア デジタルツール等を活用した、効率的かつ継続的な実需者ニーズの把握方法、仕組み作り、分析、活用方法

イ 加工業務用野菜の情勢及び耕種版インテグレーションの必要性

ウ 分業化を含む耕種版インテグレーションの県内優良事例紹介及び更なる発展に向けた課題整理

エ 重量野菜の分業化を含む耕種版インテグレーションの現状及び優良事例の横展開に向けた課題整理

オ 優良事例の更なる発展と優良事例の重量野菜への横展開に向けた今後の活動計画策定

(2) 実績報告書の提出

受注者は、以下の項目を含めた報告書を作成し、発注者に報告すること。
なお、様式は任意とし、電子データでの提出とする。

① 開催日時

② 開催場所

③ 講師及びその所属

- ④ 受講者数
- ⑤ 講座名称及び内容
- ⑥ 研修資料（3の（1）②に係る資料一式）

（3）その他業務実施に当たって必要な事項

4 委託期間

契約締結の日から令和8年3月13日（金）まで

5 その他

- （1）本事業による成果物は発注者に帰属するものとする。
- （2）本仕様書に定めのない事項は、発注者と受注者で協議し定めることとする。